

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-78874
(P2001-78874A)

(43) 公開日 平成13年3月27日 (2001.3.27)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	キーワード (参考)
A 4 7 G 29/10		A 4 7 G 29/10	A 3 K 1 0 0
E 0 5 B 19/00		E 0 5 B 19/00	F

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-156928

(22) 出願日 平成11年4月26日 (1999.4.26)

(71) 出願人 599061660

有限会社レッズプロダクション
東京都台東区蔵前2丁目5番6号

(72) 発明者 蘆田 明稔

東京都台東区蔵前2丁目5番6号

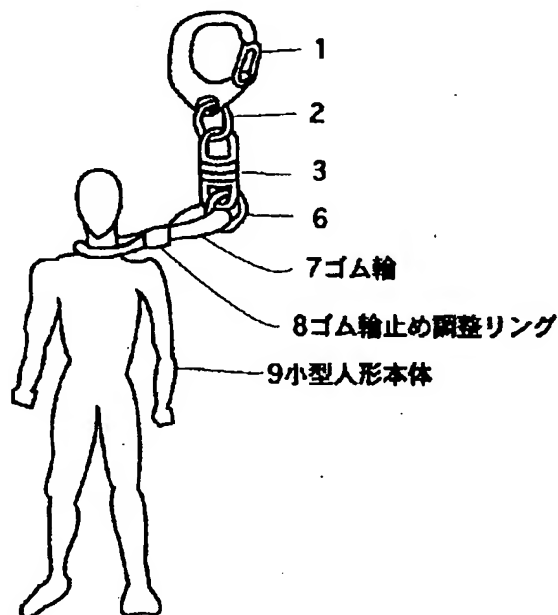
Fターム (参考) 3K100 BA08 BC05 BD03

(54) 【発明の名称】 小物取付け用キーホルダー

(57) 【要約】

【課題】 小型おもちゃ、小型人形、小物道具等キーホルダーの取付けのための破壊的加工や取付け部品等を装着せず、容易に取外しのできるキーホルダーを提供する。

【解決手段】 フックなどの取付け部材にゴム輪を設け、小型おもちゃ、小物道具等にゴム輪をはめ付けキーホルダーとして使用する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 フックなどの取付け部材と、この取付け部材につながった連結部材の他端部に小型おもちゃ、小型人形、小物道具などにはめ付けて取り付けることができるゴム輪と、このゴム輪の取付け部の輪の大きさを調整することができる調整部材と、この調整部材に前記ゴム輪の先端部を折り返して止めることができるゴム用フックとよりなる小物取り付け用キーホルダー。

【請求項2】 フックなどの取付け部材と、この取付け部材につながった連結部材の他端部に小型おもちゃ、小型人形、小物道具などにはめ付けて取り付けることができるゴム輪と、このゴム輪の取付け部の輪の大きさを調整することができる調整部材とよりなる小物取り付け用キーホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、フックなどの取付け部材にゴム輪を設け、小型おもちゃ、小物道具等にゴム輪をはめ付け、取り付けることができるキーホルダーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、キーホルダーは、図1に示すように小物本体(5)とキーホルダーが一体となっており、小物本体とキーホルダーとの分離されるものが少なく、また小物本体(5)と小物取付け部材キーホルダーとの接合のためには、ネジ付きリング(4)により小物本体を破損させる状態で取り付けられるものが多くにみられた。小物本体とキーホルダーとの分離を可能とした部材においては価格が高価なものになっていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠点があった。小物本体と小物取付け部材キーホルダーと一体になったものが多くみられ、小物本体と小物取付け部材キーホルダーとが接合されており、図1に示す小物本体(5)と小物取付け部材キーホルダーとの接合のためには、ネジ付きリング(4)により小物本体を破損させる状態で取り付けられるものが多くにみられた。また、小物本体と小物取付け部材キーホルダーとの取り外しが容易にできるものでも、目的と用途により小物本体と小物取付け部材キーホルダーとの取り外しが容易にされない欠点があり、部材製品の価格も高価なものになっていた。本発明は、これらの欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】図2に示すフック(1)に接続リング(2)を連結し連結リング(3)を連結する。連結リング(3)にゴム輪接続リングを連結し、ゴム輪止め調整リング(8)を設けたゴム輪(7)が接続されている。また、図5に示すフック(1)に接続リング(2)を連結し連結リング(3)を連結する。連結リ

ング(3)にゴム輪接続リングを連結させ、ゴム止めフック付き調整リング(12)を設けたゴム輪(7)が接続されている。本発明は、以上のような構成からなる小物取り付け用キーホルダーである。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図を利用しながら説明する。本発明は図2に示すように、フック(1)に接続リング(2)に連結され、連結リング(3)からゴム輪接続リングを連結し、ゴム輪止め調整リング(8)を設けたゴム輪(7)が接続されている。本発明は以上のような構成でこれを使用するときは、図3に示すゴム輪(7)を小型人形本体(9)の首部、手部、足部のいずれかに取付けゴム止め調整リング(8)で固定しキーホルダーとして使用をする。本発明はゴム輪(7)を使用することにより、小さな工具や小物等において容易に取外しのできるキーホルダーとしての使用が可能になる。また、図4に示す小物の場合に、図5に示すゴム輪止め調整リングにフックを設けることで小物本体にゴム輪をくぐらせる機能がない場合に使用が可能になり、ゴム止めフック付き調整リング(12)の移動により調整固定される。また、ゴム輪(7)を使用の目的に応じて糸や紐等の材質に替えてもよい。

【0007】

【発明の効果】本発明において、小型おもちゃ、小型人形、小物道具等においてキーホルダーの取付けのための小物等の破壊や部品等を装着せず、容易に取外しのできるキーホルダーを提供することができ、本発明において小物、小工具等の保管や保持、紛失などの防止に効果をもたらす。また従来の小物等から取外しのできる部品に比較し、コストの削減が可能となった。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来のキーホルダーの図である。

【図2】本発明、小物取付け用キーホルダーの図である。

【図3】本発明、小物取付け用キーホルダーの使用図である。

【図4】小物取付け用キーホルダーの使用における小物例の図である。

【図5】本発明、小物取付け用応用キーホルダーの実施例図である。

【符号の説明】

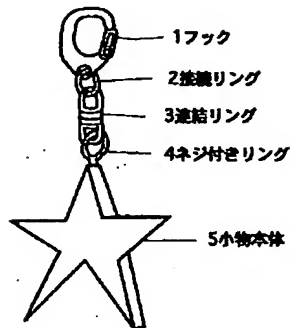
- 1 フック
- 2 接続リング
- 3 連結リング
- 4 ネジ付きリング
- 5 小物本体
- 6 ゴム輪接続リング
- 7 ゴム輪
- 8 ゴム輪止め調整リング
- 9 小型人形本体

10 本体接続リング

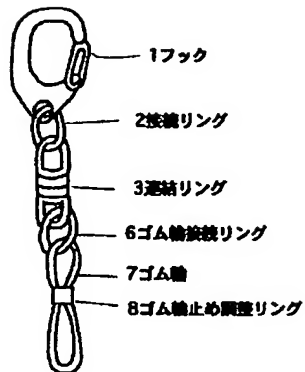
11 小物本体

12 ゴム止めフック付き調整リング

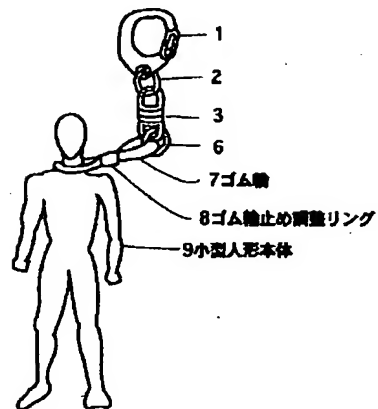
【図1】



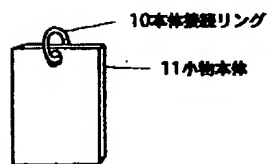
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

